

# 6月の新刊

## 6月9日(土)貸し出し開始

【一般図書】

(新刊情報は毎月末更新の「並木北コミュニティハウス」[ホームページ](#)で)

雲上雲下	朝井 まかて	「草どん、語ってくれろ」どこからともなく現れた子狐は、目の前にいた草に話しかけた。物語をせがむ子狐に、草どんは重い口をひらく……。
長く高い壁	浅田 次郎	日中戦争中の万里の長城。探偵役を命じられた従軍作家が辿り着く驚愕の真相とは?浅田作品初の戦場ミステリ。
アレー! 行け、ニッポンの女たち	こかじ さら	理不尽な理由で職を失ったアラフィフの独身女。この典型的な『負け犬』が、ほとんど運動経験もないのにフルマラソンに挑戦することに!? それは、一通のメールがきっかけだった。
青くて痛くて脆い	住野 よる	人に不用意に近づきすぎないことを信条にしていた大学一年の春、僕は秋好寿乃に出会った。空気の読めない発言を連発し、周囲から浮いていて、けれど誰よりも純粋だった彼女。秋好の理想と情熱に感化され、僕たちは二人で「モアイ」という秘密結社を結成した。それから3年。あのとき将来の夢を語り合った秋好はもういない。
オリジン(上)	ダン・ブラウン	宗教象徴学者ラングドンは、スペインのビルバオ・グッゲンハイム美術館を訪れていた。元教え子のカーシュが、“われわれはどこから来たのか”“われわれはどこへ行くのか”という人類最大の謎を解き明かす衝撃的な映像を発表するというのだ。
オリジン(下)	ダン・ブラウン	ラングドンとともに逃げるアンブラは、スペイン王太子フリアンとの婚約者だが、カーシュ暗殺にはスペイン王宮が関わっている可能性があるという。先の見えない逃亡劇は、衝撃的な結末へ――
青空と逃げる	辻村 深月	深夜の交通事故から幕を開けた、家族の危機。押し寄せる悪意と興味本位の追及に日常を奪われた母と息子は、東京から逃げることを決めた――。
おまじない	西 加奈子	悩んだり傷ついたり、生きづらさを抱えながらも生きていくすべての人の背中をそっと押す、キラメキの8編。「あなたを救ってくれる言葉が、この世界にありますように」――西加奈子
九十八歳になった私	橋本 治	時は2046年、東京大震災を生き延びた、独居老人で元小説家の「私」のもとを、「ボランティアのバーさん」やゆとり世代の50代編集者などさまざまな人たちが訪れる……。生きるのは面倒くさいとボヤキつつ、人生の真実を喝破する、橋本流老人文学の傑作!
魔力の胎動	東野 圭吾	自然現象を見事に言い当てる、彼女の不思議な“力”はいったい何なのか――。彼女によって、悩める人たちが救われて行く……。東野圭吾が価値観を覆した衝撃のミステリ『ラプラスの魔女』の前日譚。
夜廻り猫 3	深谷 かほる	「生きることがこんなに大変な時代になるとは思いませんでした」涙の匂いを辿ってやってくる夜廻り猫の遠藤平蔵。懸命に生き、必死さゆえに傷つき涙するあなたに寄り添います。
ノーマンズランド	誉田 哲也	またしても同僚の殉職を経験し、心身に疲弊の残る姫川玲子が入ったのは、葛飾署管内で起こった若い女性の殺人事件捜査本部。心機一転、捜査に集中する玲子だったが、すぐに行き詰まってしまふ。
ぐるぐる♡博物館	三浦 しをん	人類史の最前線から、秘宝館まで、個性あふれる博物館を探検!書き下ろし「ぐるぐる寄り道編」も収録!好奇心とユーモア全開、胸躍るルポエッセイ。
あやかし草子 三島屋変調百物語伍之続	宮部 みゆき	人間の愚かさ、残酷さ、哀しみ、業――これぞ江戸怪談の最高峰! 人の弱さ苦しさに寄り添い、心の澱を淨め流す極上の物語、シリーズ第一期完結篇!

☆ NHKテレビテキスト「きょうの料理6月号」「スタッフおすすめ雑誌」は閲覧できます  なお、7月新刊貸出日(7月14日)から貸出いたします

☆ 児童図書・絵本は、別途掲示しています。